

第15回日本臨床検査学教育学会学術大会のお知らせ

秋山秀彦*

大会長挨拶

この度、第15回日本臨床検査学教育学会学術大会を2020年8月19日(水)～21日(金)の3日間、愛知県豊明市の藤田医科大学にて開催させていただき運びとなりました。第7回の学術大会も藤田保健衛生大学(現:藤田医科大学)と名古屋大学、信州大学との共同開催で寺平良治大会長のもと名古屋国際会議場で開催致しました。前回は大変に設備の整った会場での開催でしたが、今回は大学での開催となり、ご不便をおかけすることもあるかと思いますが、教員一同、心のこもった大会にするよう努めてまいりますので、是非ご参加くださいますようお願い申し上げます。

学会のテーマは、「臨床検査技師教育の新たな取り組み」と致しました。現在、臨床検査技師教育制度の見直しが検討されるなか、多くの施設で新たな取り組みが検討され、実地されていると思います。今回の学会では、教育シンポジウム-1として、教育または研究などで活躍されている先生方をお招きして、ご講演を頂く予定にしています。今後の臨床検査技師教育の一助になればと思い企画致しました。また、教育シンポジウム-2では、今後実施が検討されている客観的臨床能力試験(OSCE)を取り上げました。OSCEについては、医学部・薬学部などが先行しており、臨床検査技師教育においても実施の検討は急務であります。シンポジウムでは、各施設における

OSCEの取り組みを通して、今後のあり方を議論できればと思っています。さらに、教育講演では、第13回および第14回大会で好評であったPBLチュートリアル¹の完結編として、本学の大槻眞嗣教授に講演を依頼致しました。会員校の先生方には、座長、講演依頼などお願いする予定ですので、ご協力のほど宜しくよろしくお願い申し上げます。

8月の愛知県はとてもし暑いので、クールビズでのご参加をお願い致します。また、交通や施設などでご不便をおかけいたしますが、藤田医科大学 医療科学部 医療検査学科・臨床検査学科の教員一同、大会の成功のために誠心誠意努力致します。多くの先生方のご参加をお待ち申し上げます。

I. 藤田医科大学の紹介

1964年に学校法人藤田学園が設立されました。その後、1966年に名古屋衛生技術短期大学衛生技術学科、名古屋医学技術専門学院、そして1968年には4年制大学である名古屋保健衛生大学衛生学部衛生技術学科が開学しました。さらに、1972年には名古屋保健衛生大学医学部が設置されました。さらに、2018年までの50年間、臨床検査学教育を行ってきた臨床検査学科は、2019年4月より新たに医療検査学科としてスタートしました。この医療検査学科は、1年・2年の2年間は共通科目を学び、3年次より臨床検査技師養成プログラムと臨床工学技士養成プログラムに分かれ、それ

* 藤田医科大学 医療科学部 臨床検査学科 hakiyama@fujita-hu.ac.jp

ぞれの専門分野を学ぶ学科です。これまで本学科は、5,500人以上の卒業生を輩出し、病院、大学、企業などで多くの卒業生が活躍しています。また、藤田医科大学病院（一般病床：1,454床）が併設されており、『臨床』との距離が近い大学です。

II. 大学へのアクセス

名古屋駅より、私鉄の名古屋鉄道（名鉄）を利用して、急行で前後駅まで約22分、その後、藤田医科大学病院行きバスで15分、あるいはタクシーで10分程度です。飛行機の場合は、中部国際空港

（セントレア）からは、乗り入れている名鉄を利用して神宮前駅で豊橋方面の電車に乗り換え、前後駅で下車してください。中部国際空港駅から神宮前駅まで特急を利用した場合、前後駅までの所要時間は約50分です。

宿泊については近くに施設はありません。ご不便をおかけいたしますが、金山駅または名古屋駅周辺で宿泊をお願い致します。また、夜は名古屋グルメをお楽しみいただき、親睦を深めていただければと思います。



写真1 大学・大学病院 全風景



写真2 医療検査学科・臨床検査学科

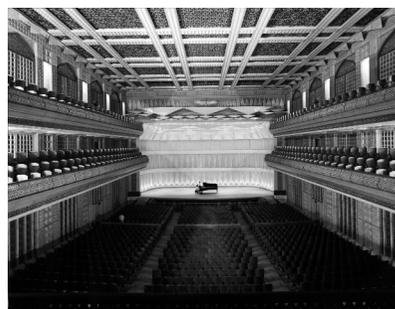


写真3 フジタホール 2000